令和7年度

一般財団法人新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院

看護師の特定行為研修

受講者募集要項



魚沼基幹病院



1. 特定行為研修の目的・目標

研修の目的

地域医療及び高度医療の現場において、対象となる患者さんに対して特定行為 を含む必要な介入を医療安全に配慮しつつ、タイムリーに実施することで地域医療・高度医療の質の向上に寄与する人材を育成する。

研修目標

- 1. 地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、 当該特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。
- 2. 地域医療及び高度医療の現場において、患者の安心に配慮しつつ、必要な 特定行為を安全に実施できる基礎的能力を養う。
- 3. 地域医療及び高度医療の現場において、問題解決にむけて、多職種と効果的 に協働できる能力を養う。

2. 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たす必要があります。

- 1) 科目ごとに履修すべき時間数の5分の4以上の出席であること。
- 2) 共通科目を全て履修し、筆記試験又は観察評価に合格すること。
- 3) 共通科目を終了後、選択した区分別科目・領域パッケージを履修し、筆記試験 及び観察評価(一部の科目にあっては実技試験)に合格すること。
- 4) 研修修了について、一般財団法人新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院看護師特定行為研修管理委員会で承認が得られていること。

※本研修修了者には、保健師助産師看護師法第 37 条の 2 第 2 項 第 1 号 に規定する特定行為及び同項第 4 号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

3. 履修内容の読み替え

専門看護師教育課程、認定看護師教育課程、看護師の特定行為研修、その他 大学院等で既に履修した共通科目の授業や時間数の取り扱いに関しては、本院の 看護師特定行為管理委員会で判断された場合に限り考慮します。ただし、受講料 の減免は行いません。

4. 定員

定員: 13 名(表1、2参照) 受講可能な区分数について

- 区分別科目の受講希望数には制限を設けません。
- ・領域別パッケージの受講については、いずれか一領域となります。

- ・受講区分については選考により決定します。右枠の定員数が上限となります。
- ・受講者数により、区分を追加することを可能とします。

表 1 特定行為区分

特定行為区分	特定行為	定員			
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	2			
栄養に係るカテーテル管理(末梢留 置型中心静脈注射用カテーテル管 理)関連(申請中)	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	2			
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	3			
動脈血液カヘカが 関連	橈骨動脈ラインの確保				
集神及が神経点は17個2萬刻也 に	抗けいれん剤の臨時の投与				
│精神及び神経症状に係る薬剤投与 │ │関連	抗精神病薬の臨時の投与	2			
	抗不安薬の臨時の投与				
	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組				
創傷管理関連	織の除去	1			
	創傷に対する陰圧閉鎖療法				

表 2 特定行為区分(領域別パッケージ)

	2 特定门祠区为(模场为八)		1				
	特定行為区分	特定行為	定員				
	呼吸器(長期呼吸療法に係る もの)関連	気管カニューレの交換					
在字	ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろう					
慢	つりれ官任民建	ボタンの交換					
在宅•慢性期領域	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組	1				
領	剧陽官垤渕建	織の除去					
域	栄養及び水分管理に係る薬	脱水症状に対する輸液による補正					
	剤投与関連	旅小症(バーズ) 9 る制液(こよる補圧					
	呼吸器(気道確保に係るも	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置					
	の)関連	の調整					
	呼吸器(人工呼吸療法に係る	侵襲的陽圧換気の設定の変更					
術	もの)関連	連 人工呼吸器からの離脱					
中中	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血					
林 酔	動脈血液カヘガ析 労建	橈骨動脈ラインの確保	2				
術中麻酔管理領域	栄養及び水分管理に係る薬	脱水症状に対する輸液による補正	_				
領	剤投与関連						
以	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の					
	例 仅 7分 拥 吕 任 因 连	調整					
	循環動態に係る薬剤投与関	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の					
	連	調整					

5. 研修期間と募集時期

1)研修期間:

特定行為区分、特定行為区分(術中麻酔管理領域パッケージ)

令和7年5月~令和8年3月(11か月間)

特定行為区分(在宅・慢性期領域パッケージ)

令和7年5月~令和8年5月(13か月間)

- * 共通科目を修了後に区分別科目を受講開始します。 なお、実習症例数に満たなかった場合など、特定行為研修管理委員会で検討し、研修期間を、 最長 2年間に延長することができます。
- *区分別科目で必要な臨地実習については、自施設の指導医と連携し安全に 実践活動を行う基盤を作るため、研修生の所属する施設で行っていただくことを推奨しています。施設での実習が可能な場合、厚生労働省に協力施設として申請し、かつ当院と協力施設としての契約が必要ですので、早めに研修担当へご相談ください。
- 2)募集時期:年 1 回(12 月中旬~翌年 1 月下旬)

6. 研修内容と時間数

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に 分かれており、講義、演習及び実習によって行われます。

1)共通科目(必修科目):特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間:6か月)

1 1 🗆	時間数							
科目	講義	演習	実習	評価	合計			
臨床病態生理学	29	1		1	31			
臨床推論	26.5	16	1	1.5	45			
フィジカルアセスメント	17.5	8.5	13.5	5.5	45			
臨床薬理学	32.5	11.5		1	45			
疾病•臨床病態概論	37	3		1	41			
医療安全学/特定行為実践	24.5	14	4.25	2.25	45			
合計	167	54	18.75	12.25	252			

* 共通科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。実習は関連する講義・演習を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。その後、科目修了試験に合格する。

2) 区分別科目(必修科目):

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間:5か月)

北京公共区 八			時間数		
特定行為区分	講義	演習	実習	評価	合計
栄養に係るカテーテル 管理(中心静脈カテーテ ル管理)関連	6	_	5 症例	1	7十 5 症例
栄養に係るカテーテル 管理(末梢留置型中心 静脈注射用カテーテル 管理)関連	7	_	5 症例	1 (OSCE)	8+ 5 症例
動脈血液ガス分析関連	11.5	_	各 5 症例	1.5 (OSCE)	13十 各 5 症例
精神及び神経症状に係 る薬剤投与関連	19	4.5	各 5 症例	2.5	26十 各 5 症例
創傷管理関連	31	_	各 5 症例	3 (OSCE)	34十 各 5 症例

3)区分別科目(必修科目):領域別パッケージ

(1)在宅・慢性期領域パッケージ

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間:7か月)

特定行為区分	時間数						
19 XC 13 And E2 73	講義	演習	実習	評価	合計		
呼吸器(長期呼吸療法	7	_	5 症例	1	8+		
に係るもの)関連	,		O)III)]	(OSCE)	5 症例		
ろう孔管理関連	14.5		5 症例	1.5	16 +		
5 7711日空风足	14.5		J 71E 171	(OSCE)	5 症例		
創傷管理関連	24		5 症例	2	26+		
心吻百姓风廷	24	_	O 11E [9]	(OSCE)	5 症例		
栄養及び水分管理に係	9	1	5 症例	1	11+		
る薬剤投与関連	3	l	J 71E [7]		5 症例		

(2) 術中麻酔管理領域パッケージ

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間:5 か月)

特定行為区分	時間数							
行足门 <i>荷</i> 区刀	講義	演習	実習	評価	合計			
呼吸器(気道確保に係	8		5 (本/5)	1	9+			
るもの)関連	8	_	5 症例	(OSCE)	5 症例			
呼吸器(人工呼吸療法	10 F	3	夕下走周	1 5	17+			
に係るもの)関連	12.5	3	各 5 症例	1.5	各 5 症例			
 動脈血液ガス分析関連	11 5		夕下走周	1.5	13+			
到派皿 枚カヘカ	11.5		各 5 症例	(OSCE)	各 5 症例			
栄養及び水分管理に係	0	4	r .== /Eil	4	11+			
る薬剤投与関連	9	1 5 症例		l	5 症例			
術後疼痛管理関連		4.5	e .e. /50	_	8+			
州 该冷州自任民建	5.5	1.5	5 症例 	I	5 症例			
循環動態に係る薬剤投	0.5	0	r .亡 /5/	4.5	12+			
与関連	8.5	2	5 症例	1.5	5 症例			

*区分別科目は、e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。 演習は、関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。実習(患者に対する実技)は、関連する講義・演習(ペーパーシミュレーション)・手技練習(模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習)を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。OSCE のある科目に関しては、実習(患者に対する実技)の前に OSCE に合格する必要がある。その後、修了試験に合格する。

7. 受講モデル

別添の研修進度表を参照。

8. 受講資格

- 1)日本国内において看護師免許を有すること。
- 2)看護師の免許取得後、通算5年以上の看護実務経験を有すること。
- 3)原則として、研修の修了後は所属施設において特定行為の実践について協力 が得られ、所属長(看護部長あるいは同等職位の所属長)の推薦を有すること。
- 4)本院の特定行為研修を修了した後に、特定行為を通じて医療の発展および社会に貢献する意欲があること。

9. 出願手続き

募集要項及び出願に必要な提出書類は、魚沼基幹病院ホームページからダウンロードしてください。

【ホームページ】 URL: uonuma-kikan-hospital.jp

【出願提出書類】

- 1) 願書
- 2)履歴書
- 3)入講志願理由書
- 4) 推薦書
- 5) 職務経歴書
- 6) 看護師免許証の写し(A4 サイズで印刷)
- 7) 認定看護師、専門看護師の資格を有する者は、認定書の写し(該当者のみ)
- 8) 既修得科目履修免除申請書(該当者のみ) 既に修了した科目について履修免除を申請する者は、修了した研修の内容、履 修時のシラバスを同封すること
- 9) 受講審査料(5,500円)の払込受領証のコピー
- 10) 合否通知用の角2封筒 送付先を記載および切手(簡易書留料金) 貼付 ※提出の書類の返却は対応せず。

【出願期間】 令和6年12月9日(月)~令和7年1月24日(金)

10. 出願書類の提出方法

【送付先】〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐 4132 番地

一般財団法人新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院

事務部総務課 教育研修推進係

電話:025-777-3200(代表)

※ 必ず封筒表に「特定行為研修志願書 在中」と朱書きのうえ、「郵便書留」で 送付するか、直接持参のこと。

11. 受講審査料

料金 5,500 円

【振込先】銀行名:第四北越銀行 支店名:大和支店

口座種別:普通 口座番号:2042188

口座名義:ザイ)ニイガタケンチイキイリョウスイシンキコウ

※ 出願期間中に上記の振込先に振り込むこと。

その際は振込人氏名の前に「トクテイ」と入れてください。

(例) トクテイ ウオヌマ タロウ

- ※ 受講審査料の払込受領証のコピー1枚を、出願書類とともに送付すること。
- ※ 受講審査料の振込手数料は申請者の負担となります。

12. 選考方法

書類により選考を行います。選考結果については、本人宛に郵送します。電話や FAX での合否の問合わせは受付ていません。

13. 受講手続

受講手続きについては、選考終了後、受講決定者にご案内をいたします。

受講料(消費税込)については、案内に基づき、振込み願います。なお、振込手数料は受講者の負担となります。

受講料の納付をもって、受講手続きを終了したとみなします。

受講料は、共通科目と許可された区分別科目・領域別パッケージの合計金額となります。

受講手続き期間:令和7年4月1日(火)~ 令和7年4月16日(水)

受講料

1)共通科目

共通科目	受講料(消費税込)
臨床病態生理学	
臨床推論	
フィジカルアセスメント	440,000 ⊞
臨床薬理学	440,000 円
疾病•臨床病態概論	
医療安全学/特定行為実践	

2)区分別科目

区分別科目	受講料(消費税込)
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	44,000 円
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	44,000 円
動脈血液ガス分析関連	55,000 円
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	77,000 円

110,000円

3)区分別科目:領域別パッケージ

領域別パッケージ	受講料(消費税込)
在宅・慢性期領域パッケージ	165,000 円
術中麻酔管理領域パッケージ	330,000 円

- ※ 収めた受講料は原則として返還しません。
- ※ 研修のための宿泊及び交通費等は各自にて実費負担となります。

14. 個人情報の取り扱いについて

魚沼基幹病院では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願及び受講手続にあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

15. 受講生の今後の日程(目安)

令和7年5月9日 入講式・オリエンテーション

令和7年5月9日 共通科目受講開始

令和 7 年 10 月中旬 共通科目修了判定

令和7年11月1日 区分別科目受講開始

令和8年3月中旬 区分別科目修了判定

令和8年3月下旬 修了式

ただし、在宅・慢性期領域パッケージについては、令和 8 年 5 月下旬に区分別科目修了判定・修了式となります。

16. その他

本院での研修は、一部e-learning となるため、各自パソコンを準備してください。 なお、魚沼基幹病院内の研修生の控室でe-learning を受講できるようパソコンを 貸与できます。

アクセス



●電車でのアクセス

上越新幹線 浦佐駅を利用した場合

東京駅 ⇒ 浦佐駅 約1時間30分

新潟駅 ⇒ 浦佐駅 約40分

※浦佐駅から徒歩 約20分

タクシー 約5分

●車でのアクセス

関越自動車道 大和スマートICを利用した場合

練馬 ⇒ 大和スマートIC 約 2 時間 10 分

新潟西IC ⇒ 大和スマートIC 約 1 時間 20 分

※大和スマートICから車で約5分

魚沼基幹病院

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐 4132 番地

一般財団法人新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院

問い合わせ:事務部総務課 教育研修推進係

TEL. 025-777-3200(代表)

### ### ### ### #### ################		科目	1別・区分	別コース	(共通科目	6ヶ月と区	区分別5ヶ.	月)						
### 125		171.6						,						
### 12 12 12 12 12 13 13 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	講義	個人による	e-ラーニン	グのため、期間	間は目安とす	よる (週20時	間程度)							
日日記録 世紀上規制に行う 中国	演習	指定した期	間に行う											
特別 新型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	実習・評価	指定した期	間に行う											
	OSCE	指定した期	間に行う											
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	科目試験	指定した期	間に行う											
변경 등		予備期間	指定した期	間内に修了で	きなかった	場合、この期	間で行う							
日本														
別日	月	浥	週の目安			セスメント	臨床楽埋字		特定行為実践	カテーテル 管理 (CVC) 関 連(7+5症	ス分析関連 (13+各5症	経症状に係 る薬剤投与 関連(26+	連(34+各5	栄養に係る カテーテル 管理(末梢 留置型中心 静脈注射用 カテーテル 管理)関連 (8+5症例)
			5月8日~	オリエンテ・	ーション									
第3週 第4週 26.5h 17.5h 18.5h 11.5h 19.5h 19.5h				29h										
野山田 17.5h 17.5h 18.5h 11.5h 19.5h 11.5h 11.5	5月													
第5回 第5														
新の週				1	26.5h									
京沙温			1	1		<u> </u>	-				1			
第8년	6月		1			17 5h					-			
第9号						17.5n								
第10週 第11週 第13週 第13週 第13週 第15週 第15週 第15週 第15週 第15週 第15週 第15週 第15							32 5h							
第11週 第12週 第13週 37h 37h 37h 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5							32.311							
第12回 第13回	7月													
第13월 第14월 第15월 第15월 第15월 1h 16h 8.5h 11.5h 24.5h 第15월 第17일 1h 16h 8.5h 11.5h 3h 14h 第19월 第20월 1.5h 18h 5.5h 14h 14h 14h 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15		第12週						37h						
第15週 1h 16h 8.5h 11.5h 3h 14h 14h 15h		第13週												
第16週 1h 16h 8.5h 11.5h 3h 14h		第14週												
第16世 11.5h 16h 8.5h 11.5h 3h 14h 14h	2 Ε	第15週							24 5h					
第18週 第19週 第20週 第22週 第23週 科目試験 科目試験 科目試験 科目試験 科目試験 科目試験 科目試験 科目試験	0/]								24.511					
第19週 第20回 第21回 第22回 第22回 第22回 第23回 科目試験 科目式験 科目式 和記述				1h	16h	8.5h	11.5h							
第20週 第21週 第21週 第21週 第21週 第22週 第23週 科目試験 科目式物 科目式物 科目式物 科目式物 和目式物 和目式的 和目式的								3h	14h					
第21週 第23週 和目試験 科目試験 科目試験 科目試験 科目試験 和目試験 和目式版 第25週 第27週 第28週 第31週 第31週 第33週 第41週 第41週	9月				. =1									
第22週 科目試験 科目試験 科目試験 科目試験 科目試験 科目試験 科目試験 科目試験					1.5h	18h			F FL					
第23週 科目試験 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 第31週 第32週 第33週 第33週 第33週 第35週 第36週 第36週 第36回 第46回 第44週 第44週 第46週 第46週									5.5[]					
第24週 第25週 第26週 第28週 第29週 第30回 第31週 第33週 第33週 第33週 第33週 第33週 第35週 第36週 第37週 第37週 第38週 第41週 第41週 第443週 第443週 第45週 第46週				利日計除	利日試除	利日討除	利日討除	利日討除	利日計略					
第25週 第26週 第27週 第29週 第30週 第31週 第31週 第31週 第31週 第31週 第31週 第31週 第31	10月			行口即原文	イナロロルの大	1十口 即場大	イナロロル例文	1十口 即場大	イナロロルの大					
第26週 第27週 第27週 第28週 第28週 第30週 第31週 第31週 第32週 第33週 第33週 第34週 第36週 第36週 第36週 第36週 第38週 第38週 第38週 第38週 第39週 第41週 第42週 第45週 第45週 第45週 第45週 第45週 第45週 第45週 第45週 第46週 第46週														
第28週 第29週 第30週 第30週 第31週 第40週 第46週 第46週 第46週 第45 第52														
第29週 第31週 第32週 12月 第33週 第33週 第35週 第35週 第35週 第35週 第35週 第36週 第38週 第38週 第38週 第40週 第440週 第443週 第443週 第443週 第446週 第45週 第660 第67試験 修了試験 修了試験 修了試験 修了試験 修了試験 修了試験 修了試験 修了		第27週								6h	11.5h	19h	31h	7h
第30週 第31週 第32週 第33週 第34週 第35週 第35週 第36週 第37週 第37週 第37週 第38週 第41週 第44週 第44週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443週 第443回 第444回 第444回 第445回 第445回 第445回 第445回 第445回 867試験 867 867 867 867 867 867 867 867 867 867	11月													
第31週 第31週 第31週 第32週 第32週 第32週 第32週 第32週 第33週 第33週 第34週 第35週 第36週 第36週 第36週 第36週 第36週 第36週 第37週 第36週 第36週 第37週 第36週 第36週 第37週 第36週 第36週 第37週 第36週 第40週 第443週 第443週 第443週 第443週 第446週 第46週	/3													
第32週 第33週 第33週 第34週 第35週 第36回 第35週 第36回 第37週 第37週 第38週 第39週 第39週 第443週 第45週 第45週 第46週 第46回 第46回 第46回 第46回 第46回 第50回 第50回										T1+/+**	T1+/+ ***			714 14
第33週 第33週 第33週 第33週 第36週 第35週 第40週 第44週 第44週 第45週 第46週 第46週 第46週 第46週 第46週 第5元 第5			1							手 技練習				手技練習
第34週 ・中心静脈力 ・直接動脈穿 ・抗けいれん ・海痛又は慢 ・未削 第35週 第36週 ま ・ 大	12日		+	1			-			D.庁/別				
第35週 第35週 第36週 第36週 第36週 第36週 第37週 第37週 第37週 第38週 第40週 第41週 第41週 第44週 第46週 第46週 第46週 第66回 第6回 第6回 第6回 第6回 第6回 第6回 第6回 第6回 第6	14/7		1				-							・末梢留置
第36週 第37週 第37週 第38週 第39週 第41週 第41週 第42週 第43週 第45週 第46週 第46週 第46週 第46週 第46週 第46週 第46週 第46			+	+			 							
1月 第37週			1							去				
第38週 第39週 第40週 第41週 第42週 第43週 第43週 第45週 第46週			1	1									のない壊死組	
第40週 第41週 第42週 第43週 第543週 第65週 第65週 第65週	1H										インの確保			
2月 第41週 第42週 第43週 第43週 67試験 第45週 67試験 第46週 67試験														
2月 第41回 第42週 第43週 第45週 第45週 第46週												闘時の投与		
第4公园 第43週 第44週 第45週 第46週 修了試験 修了試験 修了試験 修了試験 修了試験	2月												Æ	
第44週	, J													
第45週 修了試験 修了試験 修了試験 修了試験 修了試験 修了試験 第46週														
第46週														
第46週	3月		1							修了試験	修了試験	修了試験	修了試験	修了試験
		第46週 第47週												

		科目別・	パッケージ研					領域パッケ	ージフヶり])		
= ++-	/B /- L z .	> #7	t #088/ F		定行為研修	スケジニ	ュール					
講義			ため、期間は目	日女とりる(近	120時间程度)							
演習	指定した期間に行う											
実習・評価	指定した期間に行う											
OSCE	指定した期間に行う											
科目試験	指定した期間											
	予備期間	指定した期	間内に修了でき	なかった場合	、この期間で	行う						
月	週	週の目安	臨床病態生理学(31)	臨床推論(45)	フィジカルア セスメント (45)	臨床薬理学 (45)	疾病・臨床病 態概論(41)	医療安全学/特定行為実践 (45)	呼吸器(長 期呼吸療法 に係るも の)関連 (8+5症例)	ろう孔管理 関連(16+ 5症例)	創傷管理関 連(26+5 症例)	栄養及び水 分管理に係 る薬剤投与 関連(11+5 症例)
		5月8日~	オリエンテー	-ション								
	第1週		29h									
5月	第2週											
	第3週											
	第4週		1	26.5h								
	第5週 第6週	1								-	-	1
6月	第7週	1			17.5h					1		
	第8週	+	+	+	17.311					 	1	
	第9週					32.5h						
	第10週					52.5.1						
7月	第11週											
	第12週						37h					
	第13週											
	第14週											
8月	第15週							24.5h				
	第16週		415	4.61	0.51	=						
	第17週		1h	16h	8.5h	11.5h	25					
	第18週 第19週						3h	14h				
9月	第20週			1.5h	18h		+					
	第21週			1.511	1011			5.5h				
	第22週											
	第23週		科目試験	科目試験	科目試験	科目試験	科目試験	科目試験				
10月	第24週											
	第25週											
	第26週											
	第27週 第28週								7h	14.5	24h	9 h
11月	第29週											
	第30週											
	第31週								手技練習	手技練習	手技練習	1h
	第32週								OSCE	OSCE	OSCE	
12月	第33週	1			-					mate in	5症例	5症例
									5症例	5症例	JIE 179	
	第34週								・気管力	・胃ろうカ	・褥瘡又は	・脱水症状
	第35週								・気管カ ニューレの		・褥瘡又は 慢性創傷の	・脱水症状 に対する輸
	第35週 第36週								・気管力	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ	・脱水症状 に対する輸 液による補
1月	第35週 第36週 第37週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな	・脱水症状 に対する輸
1月	第35週 第36週 第37週 第38週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
1月	第35週 第36週 第37週 第38週 第39週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな	・脱水症状 に対する輸 液による補
	第35週 第36週 第37週 第38週 第39週 第40週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
1月	第35週 第36週 第37週 第38週 第39週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
	第35週 第36週 第37週 第38週 第39週 第40週 第41週 第42週 第43週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
	第35週 第36週 第37週 第38週 第39週 第40週 第41週 第42週 第43週 第44週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
2月	第35週 第36週 第37週 第38週 第39週 第40週 第41週 第41週 第43週 第43週 第543週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
2月	第35週 第36週 第377週 第38週 第39週 第40週 第41週 第41週 第43週 第45週 第45週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
	第35週 第36週 第37週 第36週 第37週 第38週 第39週 第40週 第41週 第443週 第443週 第5443週 第545週 第545週 第545週 第545週 第547週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
2月	第35週 第36週 第37週 第38週 第39週 第40週 第41週 第41週 第45週 第45週 第45週 第45週 第45週 第45週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
2月	第35週 第35週 第36週 第37週 第37週 第38週 第39週 第40週 第41週 第42週 第44週 第47週 第45週 第45週 第45週 第36週 第37週 第36週 第37週 第36週 第36週 第37週 第36週 第36週 第36週 第36週 第36週 第36週 第36週 第36								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
2月	第35週 第36週 第37週 第38週 第39週 第40週 第41週 第44週 第45週 第45週 第46週 第46週 第46週 第56週 第56週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
2月	第35週 第36週 第37週 第38週 第39週 第40週 第41週 第44週 第45週 第45週 第45週 第46週 第47週 第46週 第50週 第51週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
2月	第35週 第36週 第37週 第38週 第39週 第40週 第41週 第44週 第45週 第45週 第45週 第45週 第47週 第47週 第47週 第52週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
2月 3月 4月	第35週 第36週 第37週 第38週 第39週 第40週 第41週 第42週 第43週 第45週 第45週 第45週 第45週 第550週 第550週 第550週 第550週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補
2月	第35週 第36週 第37週 第38週 第39週 第40週 第41週 第44週 第45週 第45週 第45週 第45週 第47週 第47週 第47週 第52週								・気管カ ニューレの	・胃ろうカ テーテル若 しくは腸ろ うカテーテ ル又は胃ろ うボタンの	・褥瘡又は 慢性創傷の 治療におけ る血流のな い壊死組織	・脱水症状 に対する輸 液による補

			科目別・	11カ月二]ース(共	通科目6ヶ	月と術中原	森酔管理領	域パッケ	ージ5ヶ月)			
							多 スケジ	ユール						
講義	個人によるe-ラーニングのため、期間は目安とする(週20時間程度)													
演習	指定した期間に行う													
実習・評価	指定した期間に行う													
OSCE	指定した期間													
科目試験	指定した期間	に行う												
	予備期間	指定した期	間内に修了で	きなかったり	場合、この期	間で行う								
	_													
月	週	週の目安	臨床病態生理 学(31)	臨床推論 (45)	フィジカルア セスメント (45)	臨床薬理学 (45)	疾病・臨床病 態概論(41)	医療安全学/ 特定行為実践 (45)	呼吸器 (気道 確保に係るも の) 関連(9+5 症例)	呼吸療法に係	動脈血液ガス 分析関連 (13+各5症	栄養及び水分 管理に係る薬 剤投与関連 (11+5症例)	術後疼痛管理 関連(8+5症 例)	循環動態に係 る薬剤投与関 連(12+5症 例)
									, a	(D3)	(22.000)		123)
	777 4 VIII	5月8日~	オリエンテ	ーション										
5月	第1週 第2週	1	29h											
	第3週	+			 	1	-		 				-	
	第4週			26.5h										
	第5週	+	+	20.311			1	-					-	
6月	第6週	+	1				 							
	第7週	+			17.5h		 							
	第8週	+	+		17.511									
	第9週	+				32.5h								
7月	第10週					32.311								
	第11週													
	第12週						30h							
	第13週						50							
	第14週						1							
	第15週							24.5h						
	第16週													
	第17週		1h	16h	8.5h	11.5h								
	第18週						3h	14h						
10月	第19週													
	第20週			1.5h	18h									
	第21週							5.5h						
	第22週													
	第23週		科目試験	科目試験	科目試験	科目試験	科目試験	科目試験						
	第24週													
	第25週													
	第26週													
	第27週	1							8h	12.5h	44.51	01		
	第28週		-			1					11.5h	9h		0.51
	第29週									26		16	5.5h	8.5h
	第30週 第31週	1			1	1			手技練習	3h	手技練習	1h	1.5h	2h
12月	第31週 第32週	+	-		1		-		于技練省 OSCE		于坟樑省 OSCE(2行為)			
	第33週	-							OSCE 5症例	5症例×2	5症例×2	5症例	5症例	5症例
	第34週	1	-						 経口用気管 		- 直接動脈穿			・持続点滴中
	第35週	+	+		 		 		チューブ又は			対する輸液に		・持続点荷牛の糖質輸液又
1月	第36週		1						チューン文は 経鼻用気管	変更	判法による珠	対する輸放に よる補正	テーテルによ る鎮痛剤の投	
	第37週	+	1		1				在男用スE チューブの位		 ・ 橈骨動脈ラ		与及び投与量	
	第38週								置の調整	からの離脱	・保育動脈ノインの確保		の調整	整
	第39週								にジの正	カーシマク内能が	「ノの唯味		マンの可立と	E
2月	第40週													
	第41週													
	第42週													
	第43週	1												
	第44週													
3月	第45週								修了試験	修了試験	修了試験	修了試験	修了試験	修了試験
		1	_	1	1	1	1	t						
3月	第46週													